

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	関市立下有知小学校		
実 施 期 間	平成25年9月20日(金)～11月20日(水)		
実 施 概 要	① 地域文化祭への出品と青少年健全育成標語の授賞 ②親子ふれあい行事「ぎんちゃん広場」の実施 主に地域の講師を招いての講座の実施 ③地域の農家での体験活動(3年) ④学校公開日の設定 フリー参観の呼びかけ ⑤生活科・総合的な学習の時間での野菜や米の収穫(2・3・5年) 地域の敬老会の方とともに実施 ⑥小中合同で行う地域美化活動 小中の児童生徒が学校、家庭、地域で行うボランティア活動		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input checked="" type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input checked="" type="checkbox"/> 産業 <input type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input checked="" type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input type="checkbox"/> 講演会等 <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	約 700人	計 約 780人
	地域関係者	約 80人	
実 施 状 況	①校区のふれあいセンター主催の文化祭へ、全学年から絵画、習字、夏休みの作品等を出品した。当日は雨天のため、表彰式は実施できなかったが、5年生が栽培した菊を展示した。 ②全校で親子のふれあいができる行事「ぎんちゃん広場」を実施した。PTAの実行委員が中心となって地域や保護者の方々に講師を依頼し、13の講座を設け、軽スポーツやサイエンス工作、そば打ち体験など、普段はなかなか体験できないことを楽しみながら親子で学ぶことができた。 ③3年生が地域で大根を栽培している農家の方を訪ね、社会科の学習を行った。インタビューをして自分の疑問を解決した後、大根を引き抜く活動をし、大根づくりの工夫や農家の努力について体験を通して学ぶことができた。 ④半日フリー参観日と学校公開日を同日に設定し、保護者やその家族、地域の方々に、学校だよりを通して知らせるなどして広く参観を呼び掛けた。参観者の都合のよい時間に来校することができたので、大変多くの参観者が訪れた。 ⑤この期間に2・3・5年生が生活科や総合的な学習の時間で栽培してきた野菜や米を地域の敬老会の方々と共に収穫した。収穫の後は、お年寄りから、豆のさやから種を取るやり方を学んだり、収穫祭のための調べ学習を進んで行ったりすることができた。 ⑥下有知地区青少年育成協議会と小中学校が中心となって、区長会、自治会、敬老会、民生委員、地域の協力を得ながら、ボランティア活動を推進する下有知小中「ふれあい活動」推進委員会を立ち上げた。その活動のスタートとして、5・6年生と中1が合同で、グループに分かれ、下有知地区の公共施設等の清掃活動を行い、大変意欲的に取り組むことができた。		
成果及び課題 (成果○・課題●)	○昼休みまでを学校公開としたことで、様々な場面での参観をすることができて、児童の学校生活の様子について理解を深めることができた。保護者からは、「全体的にとっても落ち着いて生活していて安心した。」という感想が聞かれた。 ○全校で親子がふれ合える活動を設定したことで、親子で共に活動することの楽しさを味わうことができた。「来年もぜひ、ぎんちゃん広場をやってほしい。」という意見が多く上がった。 ○「ふれあい活動」を立ち上げたことで、子どもたちのボランティア意識が高まり、進んでよいことを行おうという意欲的な姿が見られるようになった。 ●フリー参観日と学校公開日を同時に開催したが、地域の方の参観は少なかった。今後は、地域の方々の参加や学校教育への協力を得ていくために、学校の情報を提供し、一緒にできることや活動内容を広めていく必要がある。		

